

ふくおかフードビジネス支援事業 2020年4月~2021年3月実施予定 (福岡県中小企業振興センター)

【課題】

県産農林水産物等を活用した商品の販路拡大支援を行っているが販路が限られており売上拡大が進まない。次の3つの課題解決に取り組む必要がある。

- ①販路開拓における営業ノウハウや経験不足
- ②出口（販路）を見据えた商品開発力の不足
- ③商品認知度の低さ

元年度は商談会と情報発信等による販路開拓支援を実施したが、継続した取引につなげていくためには商品開発段階から出口（販路）を見据えて取り組んでいくことが重要。2年度は商品開発から商談会等を活用した販路開拓まで個別支援も組み合わせ切れ目ない支援を行う。

【目的】

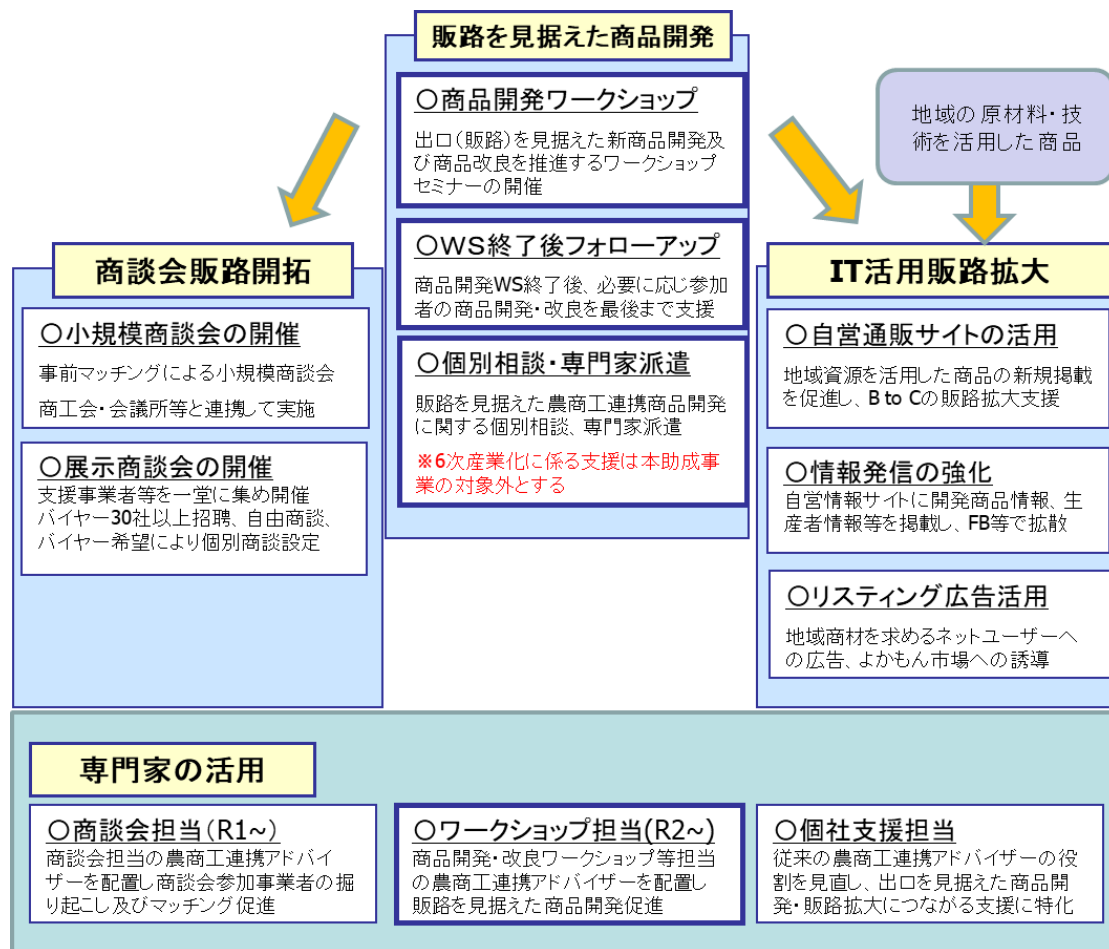
- ◆県産農林水産物を活用した商品開発・販路拡大による農林漁業者の所得向上や商工業者の収益拡大を図る。
- ◆地域資源を活用した地域の隠れた逸品をIT等を活用し広くPRすることにより商品認知度を上げ販路拡大につなげる。

【都道府県の施策との連携・親和性】

県は福岡県中小企業振興基本計画に基づき以下の取組を推進

- ・情報通信技術、商談会等を活用した販路開拓支援
- ・新たな商品及び役務の開発の促進
- ・事業活動を担う人材の確保及び育成

【本事業の内容】



【成果目標】

- 商談会
 - ・170件の商談設定
 - ・20件の商談成立
- 商品開発・改良支援
 - ・25件
- IT活用販路開拓
 - ・12商品の売上拡大

【波及効果】

- ◆商品開発及び商談のノウハウ蓄積による営業力、販路拡大能力の向上
- ◆IT活用による地域商材を求めるネットユーザーの囲い込み
- ◆地域資源を活用した地域の隠れた逸品の商品認知度向上
- ◆県内農業者及び中小企業者の売上拡大による地域経済の活性化

【将来の支援目標】

- ◆本県の農林水産物を利活用し付加価値向上をめざす新たな事業者の参入促進

機械加工・開発企業販路拡大支援事業 2020年4月～2021年3月実施予定 (福岡県中小企業振興センター)

【課題】

これまで、請負加工を主とした県内製造業を対象に、メーカーを発注企業とした商談会を実施してきたが、発注企業がメーカーの場合、当該メーカーのみの案件であり、また、直接取引での新規参入は実績のない企業には成約までのハードルが高い。

一方、商社は複数メーカーの案件を保有しており、商社を発注企業とした場合、より成約可能性がアップするほか、メーカー側がどんなものを求めているのか業界動向についての情報を得ることができる。

【本事業の内容】

◆商社との取引を希望する県内企業エントリー

加工企業
(下請的企業)

製品・技術開発系企業
(自立的企業)

受注企業開拓

◆全国の商社を訪問《参加商社の発掘》

県内企業の情報提供

商社ニーズ聞き取り

商談会、展示会への参加要請

※金属・樹脂加工、IT関連企業に強い専門商社想定

発注企業開拓

【目的】

複数メーカーと取引している商社を活用し、県内の機械加工・開発企業の新たな販路開拓の場を創出することで、県内企業の成長発展を推進する。

【都道府県の施策との連携・親和性】

県は福岡県中小企業振興基本計画に基づき以下の取組を推進

- ・情報通信技術、商談会等を活用した販路開拓支援
- ・新たな商品及び役務の開発の促進
- ・事業活動を担う人材の確保及び育成

【成果目標】

- 100件の商談設定
- 20件の商談成立

【波及効果】

- ◆販路窓口が開拓され、受託加工メインの企業が開発・自社製品技術系企業として自立型企業へ成長
- ◆県内中小企業の取引拡大による地域経済の活性化

【将来の支援目標】

- ◆県内中小企業の技術力を活かした優良メーカーへの提案活発化
- ◆既成のサプライチェーンの枠を越えた様々な新たな取引が活発化

海外高度人材活用促進事業 2020年4月～2021年3月実施予定 (福岡県中小企業振興センター)

【課題】

技術・設備はあるものの労働力の不足により、受注量が制限されるなど人手不足は、販路拡大の隘路ともなっている。

当センターでは、海外人材の活用促進を図るため、H30年度から韓国慶尚北道及び韓国産業団地公団と連携し、「海外高度人材インターンシップ」を実施している。インターンシップ学生と受入企業とのミスマッチを最小限にしたい。

【本事業の内容】

《福岡県中小企業振興センター》

海外高度人材の活用を検討している県内企業
(インターンシップ受入先候補)

インターンシップ受入候補企業絞り込み

参加

海外高度人材活用促進事業
(5月頃)

●面談会

●企業プレゼン

インターンシップの
マッチング精度向上

インターンシップ受入企業決定

インターンシップ実施
(7～8月)

《韓国団地公団・慶尚北道》

韓国慶尚北道地域大学より福岡での就職を希望する学生
(100名程度)

選抜 (3～4月頃)
(日本語能力+志望動機等)

候補学生 30名

招聘

受入企業とのマッチング

インターンシップ参加者決定

インターンシップ生
20名

インターンシップ後
(希望により)
採用面談⇒就職へ

【成果目標】

- 受入企業：15社
- 採用人数：10名

【波及効果】

海外人材活用企業のみならず、事業成果の周知により、地域企業の海外高度人材活用に対する意識の向上が図られるとともに、深刻な人材不足解消が期待される。

【将来の支援目標】

- 海外高度人材活用が県内企業に広がることによる県内企業の人材確保と県内企業定着率向上。
- 3年後定着率：80%

【目的】

海外高度人材のインターンシップ事業の精度を上げることで成功事例を創出し、海外人材の活用に取り組む企業を増やす。ひいては県内中小製造業等の人手不足解消を図る。

【都道府県の施策との連携・親和性】

県は福岡県中小企業振興基本計画に基づき以下の取組を推進

- ・情報通信技術、商談会等を活用した販路開拓支援
- ・新たな商品及び役務の開発の促進
- ・事業活動を担う人材の確保及び育成